

社協通信

皆実学区社会福祉協議会



第40号 令和3年1月13日

発行 皆実学区社会福祉協議会

<http://shakyo-hirosima.jp/minami/>

発行責任者 市川 宏

会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会

検索か上のQRコード

新年あけましておめでとうございます



本年も何卒 よろしくお願い致します

皆実学区社会福祉協議会役員・理事一同

ご存じのように、昨年年初めから、新型コロナウイルスの中国武漢での人感染の報道以来、短期間のうちに世界に広がり、猛威を振るいました。

日本も、瀬戸際防止に頑張りましたが、豪華観覧船内で観客の集団感染があり、その客船の寄港により、いろいろの対策と努力の効果なく、遂に日本に上陸しました。

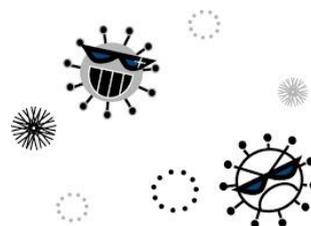
日本列島は、コロナウイルス感染非常事態に陥る！！

経済破綻と医療崩壊も追い打ち！！

以来、堰を切ったように外国から帰国した人や観光客などにより、北海道、沖縄、東京を中心に一気に第一波が始まりました。

7月から8月にかけて暖かくなり、終息の兆しがあり、落ち込んだ経済の回復を考え始めて人的流れを緩和しました。ところが、秋口になり第二波がやってきて、経済の回復とコロナ感染対策の二足のわらじで頑張っても、感染者や死者の数は記録上りになりましたが、取り合えず収まりましたが冬場になり、第三波と変異コロナウイルスを含む猛烈な感染が、日本全国に蔓延して、医療崩壊に陥りました。

遅ればせながら、政府は一部都県に慌てて「緊急事態宣言」を再発動しました。丁度年末帰省と新年を迎える時期と重なり、不要不急以外移動自粛の状態になりました。



今後の地域活動・・・ どうしたらよいか・・・

悩んでいても仕方がない。元気を出そう！！

明けない夜はない。暗いトンネルも先には必ず明かりが見えるはず。いくら長い坂道でも、どこかに休める広場はある！そこまで粘ろう。そうすれば、やがて花咲く春が来るだろう。

顕微鏡でしか見えない小さなウイルスに、宇宙へ調査に出かける人間が負けるわけがない。長い地球の歴史の中で、同様のことが幾度かあり克服してきた実績がある。

コロナウイルスには、一つ弱みがある。それは自分自身のみでは、増えないし生きられない。人間の中に入り、人間の自力攻撃をくぐり抜けて細胞の中に入り増殖する。よって、感染防止は原理的には簡単で、人間と人間が近づかない事のみである。ところが、不幸にして人間の弱みは、近づかないと生きていけない社会生活集団生活をする動物である。

コロナウイルスは、人間の肺から出る呼吸の粉末に乗って動くため、遠方へは自力でいけない。

そこで、人間と人間が遠く離れた生活体系社会に変身すれば、解決する筈である。人間はそれが出来る道具を持っている。その道具こそインターネット配信の力である。それを利用して、在宅出勤という社員の家で仕事をするテレワークである。人が集まらず会議もできるし、コミュニケーションも取れる。がっこの勉強もできる。

人間社会は、これですべて生活出来るものばかりではない。文化、体育、鑑賞、食事、行事など集合を基盤としたものも多いから厄介である。

そこで、皆実学区社協ではオンラインを利用して、遠隔会議や遠隔によるいきいきサロン事業など出来ないものかを模索しております。これが出来れば、三密回避の活動が出来るのではないかと思いますので、取り掛かってみようかと考えています。

せめて半分の成果でもあれば幸いである。

まづ、私たち役員（会長・副会長）5人が、広島市の道具（タブレット端末）貸与事業を利用して、研修・研究してみることに致しました。

苦労覚悟で勉強してみよう

皆実学区社協の役員は、皆ご老体で全く自信はありませんが、広島市の介護保健課の職員の方から指導を受けて、頑張ってみることにしています。

最初は多分チンプンカンプンですが、指導を受けて見よう見真似で、触ってみたり、聞いてみたりするうちに、何とか不安も薄くなり、便利さも分かってくるのではないかと思います。

最終的には、将来各活動諸団体やいきいきサロンなど分散した会場などで同じ行動が出来るまで普及すれば助かると思っています。まあまあ、出来ることはやってみましょう。

